

特許公告抄録

(昭和 16 年 11 月中公告)

マグネシウム又はマグネシウム合金の電解的防蝕法 (1) 第 5,930 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 15-8-30, (3) 加藤均三, 内田謙一, (4) 淺野八郎, 本發明は樹脂石鹼の水溶液或は之に磷酸アルカリ, 蓆酸アルカリ, 硫化アルカリ等の如き水に不溶性なるマグネシウム鹽を作る鹽類を混合したるものを電解液とし直流又は交流電壓を以て電解處理を行ふ事を特徴とする電解的防蝕法に係る。

團塊物製造方法 (1) 第 5,938 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 15-2-19 (3) 福島壽義, (4) 鐘淵紡績株式會社, 本發明は鐵, 銅, 金, 銀, マンガン, ニッケル, アルミニウム等の金屬同化合物又は之等を含む鑽石の粒末乃至粉末にヴィスコース液其他の纖維素誘導體溶液又は蛋白質溶液を粘結劑として混和するに際し混合直後に於ける混合物中の水分並に溶劑の含量を 4~15% となし且原料に對し纖維素又は蛋白質としての含量を 0.2~2.0% となる如く混合して之を壓搾成型する團塊物製造方法に係る。

熔態の鍍又は鍍類似物の還元方法 (1) 第 5,939 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 15-3-13, (3) 中部左内, (4) 住友鑛業株式會社, 本發明は珪素鐵, マンガン鐵等の如き鍍又は鍍類似物の比重と近似せるか或はより大なる比重を有する還元劑を熔融状態にある鍍又は鍍類似物に混和し其の中の金屬化合物を還元することを特徴とする還元方法に係る。

海綿鐵製造法 (1) 第 5,940 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 15-6-19, (3) 濱野繁五, 榎本利二, (4) 林喜一郎, 榎本利二, 本發明は鐵鍍を合炭素物質にて加熱還元し還元鐵を製造するに當り適當量のアルカリ硫酸鹽, アルカリ重硫酸鹽, アルカリ亞硫酸鹽を加へ之に少量の有機酸アルカリを添加し還元溫度を急速に上昇せしめ 950~1,100°C に於て急速的接觸的に還元し觸媒の海綿鐵中に浸入するを止める海綿鐵製造法に係る。

脫珪酸海綿鐵製造法 (1) 第 5,941 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 15-6-19, (3) 濱野繁五, (4) 濱野繁五, 榎本利二, 林喜一郎, 本發明は鐵鍍粉末を脂肪酸アルカリにて處理したる後炭素物質を加へて比較的低溫度に於て還元し還元後高溫状態に於て加熱し海綿鐵を收縮し珪酸アルカリを流動離脱の状態となし濕式抽出法により珪酸を水溶性又はコロイド珪酸として分離する海綿鐵製造法に係る。

酸化コバルト鍍の精鍊處理方法 (1) 第 5,942 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 15-5-25, (3), (4) 濱住松二郎, 本發明は酸化コバルト鍍石又は之を淘汰せる精鍍を 500~900°C に數時間焙焼し次に稀硫酸に溶解し之に屑鐵硫化水素又は硫化ソーダを加へて銅を沈澱除去し其の濾液の水素イオンの濃度を 3~5pH に加減し緩衝液として醋酸及醋酸ソーダを加へ之に硫化水素又は硫化ソーダを加へてコバルトを硫化コバルトとして沈澱せしめマンガン其他の不純物と分離し更に此沈澱を稀硫酸を以て洗滌し次に硫化コバルトを焙焼して酸化コバルトとなし之を還元して金屬コバルトとなす事を特徴となすコバルト鍍石の精鍊處理方法に係る。

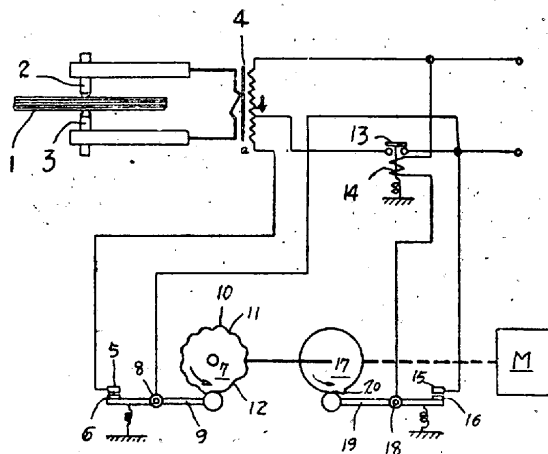
耐酸合金 (1) 第 5,943 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 14-11-11, (3), (4) 稻葉末吉, 本發明は Ni 72~74, Cr 9~11, Mn 0.1~0.5, 残り Cu よりなる耐酸合金に係る。

特殊耐酸合金 (1) 第 5,944 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 14-11-11, (3), (4) 稻葉末吉, 本發明は Ni 72~74, Cr 9~11, Mn 0.1~0.5, Al 0.8~1.2, 残り Cu よりなる耐酸合金に係る。

特殊耐酸合金 (1) 第 5,945 號 [昭 16-11-5] (2) 昭 14-11-11, (3), (4) 稻葉末吉, 本發明は Ni 72~74, Cr 9~11, Mn 0.1~0.5, Sn 0.5~1.0, Cd 0.05~0.15, 残り Cu よりなる耐酸合金に係る。

時硬速度の遅きアルミニウム合金 [昭 16-11-5] (2) 昭 14-2-9, (3), (4) 久留島政治, 本發明は Cu 2~6, Mg 0.2~4, Mn 1 以下, Cd 0.01~1.3, Fe 1 以下, 珪素 1 以下, Mo 1 以下, 残り Al よりなるアルミニウム合金に係る。

多重薄板の點熔接方式 (1) 第 6,095 號 [昭 16-11-10] (2) 昭 16-4-11, (3) 三浦春信, (4) 株式會社日立製作所, 本發明は圖に示す如く少くとも二つ以上の直列熔接點を構成すべく積重せる薄板を



其の兩外表面に於て壓接せる電極間に間歇的振動電流を適當回数通ぜしめたる直後適當時間を経て前記脈動電流より大なる實効値を有する電流を適當單時間流通せしむる多重薄板の點熔接方法に係る。

銅とアルミニウムとの接合方法 (1) 第 6,096 號 [昭 16-11-10] (2) 昭 15-5-9, (3) 岩田壽郎, (4) 株式會社日立製作所, 本發明は銅線又は板とアルミニウム線又は板との接合部に亞鉛の如き比較的導電率良く且電極電位が銅とアルミニウムの略中間に位する金屬の薄層を介在せしめて抵抗式により接合する方法に係る。

アルミニウム接合法 (1) 第 6,098 號 [昭 16-11-10] (2) 昭 16-6-12, (3) 桑原英雄, 小本春雄, (4) 株式會社安川電機製作所, 本發明はアルミニウムを兩電極に跨がりて接觸せしめ該接觸により生ずる電極短絡電流の發生熱によりアルミニウムが熔融し始むるや兩電極を前記接觸部より互に逆方向に離反せしむると同時にアルミニウムの熔融部を衝合熔接せしむる事を特徴とするアルミニウム接合法に係る。

自動電氣抵抗熔接機 (1) 第 6,097 號 [昭 16-11-10] (2) 昭 16-5-30, (3) 鈴木四郎, (4) 旭電氣工業株式會社, 本發明は圖に示す如く二個逆並列に用ひたる三極放電管 (4) (4') と操作用變壓器 (3) の二次線輪 (8) (8') との間に夫々格子偏倚電壓を供給し得べく

液中の遊離アルカリ 6.5%以下の電解液を、0~20°Cの範囲に於て電解を行ひ金屬アンチモンを陰極に析出せしむると同時に硫黄を陽極上に析出せしむる事の特徴とし反復操作により電流放率の低下したる電解廢液を酸化銅を以て處理し硫化アルカリの一部を残し他を苛性アルカリに變じアンチモンの抽出に利用するアンチモンの電解精鍊法に係る。

アルミニウム面の電解精鍊法 (1) 第 6,166 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 15-12-6, (3) 宮田聰, (4) 財団法人理化學研究所, 本發明はアルミニウムを之に對して陽極特性を示す酸のアルカリ鹽の水溶液を電解液とし直流及び交流を重疊して陽極電壓と該電壓の値に比し小なる値の陰極電壓とを交互頻繁に與ふる事よりなるアルミニウム面の電解的精鍊法に係る。

酸化鉛を含む鉛滓より鉛若くは鉛合金を回収する方法 (1) 第 6,178 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 15-6-21, (3) 江村孝之 (4) 住友電氣工業株式會社, 本發明は食鹽に鹽化カリ若くは鹽化カルシウム又は鹽化カリ及び鹽化カルシウムを加へて成る混合鹽を熔融しその中に鉛滓及び適量の炭素粉を投入し鉛若くは鉛合金を熔融すると同時に酸化鉛を該混合熔融鹽により捕捉分離せしめ更に該酸化鉛を炭素に依り還元せしめたる後之を鑄型に移し凝固分離せしむる事の特徴とする鉛滓より鉛若くは鉛合金を回収する方法に係る。

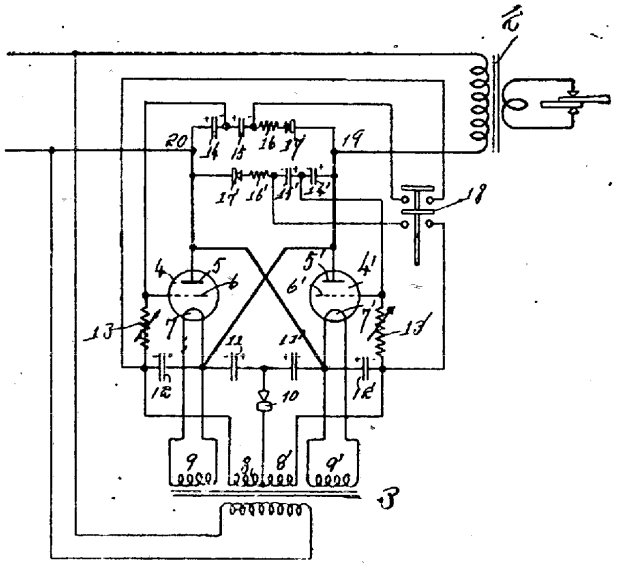
浮選選礦其の他比重大なる微粉礦物の回収方法 (1) 第 6,179 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 14-6-21, (3), (4) 大藏國彦, 本發明はコークス, 木炭, 石炭, 鉛屑等の細粒を上下の金網間に挾持せしめたる濾過槽内に選礦工程中の沈澱槽の上部より溢流する餘水を流入せしめ以て汰盤其の他比重選礦機にて容易に捕集し難き錫 鉛其他比重大なる微粉鉛物を含める鐵水を該コークス, 木炭等の層中を通過中之を附着捕集せしめ次に此等のコークス木炭等を其の儘別選礦せる錫鐵其の他の鐵物と共に爐中に投入して之が溶解還元の際の還元劑として使用し從來其の儘放流し去りたる微粉鐵物を回収する方法に係る。

アンチモン製鍊廢物の處理方法 (1) 第 6,180 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 15-4-30, (3) 奈倉進外 2 名, (4) 戶澤工業株式會社, 本發明はアンチモン製鍊に依つて生ずるソーダ, アンチモン, 鉛, 鐵, 硫黄及其他を含有する廢物を水にて處理し水溶性のソーダ及アンチモンの一部を抽出する第 1 工程と該第 1 工程より得たる殘流を硫酸水溶液を以て分解し鐵の殆ど大部分を溶解しアンチモン及鉛等を分離する第 2 工程との結合を特徴とし前記工程中に生ずる硫化水素並に殘流を適當に活用してアンチモン及鉛を經濟的に分離するアンチモン製鍊廢物の處理方法に係る。

アルミニウム, マグネシウム又は之等を夫々主成分とする各合金の防銹法 (1) 第 6,181 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 13-10-26, (3) 西羅俊三, (4) 伊東城一外 2 名, 本發明は過マンガン酸アルミニウムの水溶液に硫酸アルミニウムを加へたる水溶液にて處理する事よりなるアルミニウム, マグネシウム及び其合金の防銹法に係る。

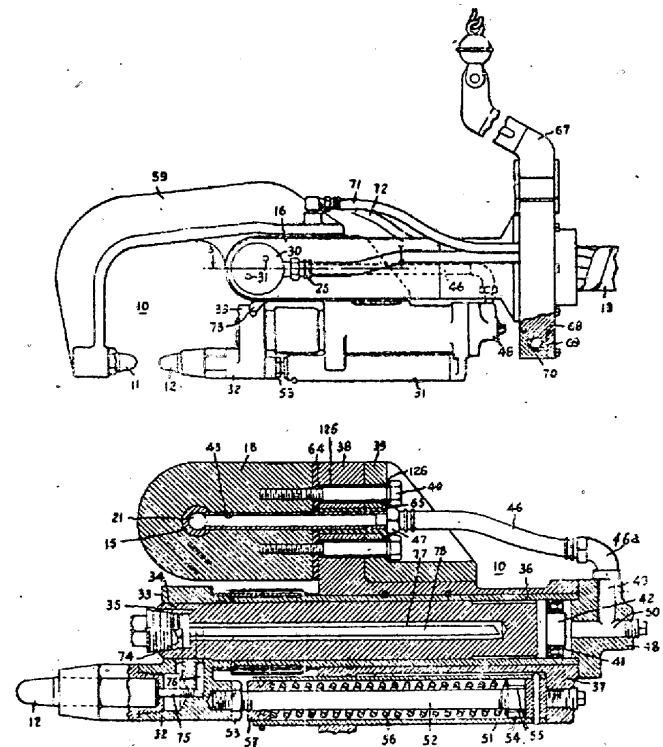
輕金屬若くは輕合金の防銹皮膜形成方法 (1) 第 6,182 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 14-9-13, (3), (4) 西羅俊三, 本發明は亞鉛又はマグネシウムの過マンガン酸鹽類の水溶液を使用する輕金屬及合金の防銹皮膜形成方法に係る。

マグネシウム又は其合金の防蝕處理方法 (1) 第 6,183 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 14-6-8, (3) 遠藤彦造外 1 名, (4) 金屬材料研究所長, 本發明は重クロム酸カリ或は重クロム酸ソーダと硝酸との混合水溶液にて目的物を處理する第 1 工程と水 1 l 中に食鹽 3~40g, 亞



したる蓄電器 (12) (12') と回路簡易化用の阻止蓄電器 (11) (11') とを挿設し且三極放電管には蓄電器 (14) (15) 整流器 (17) 抵抗 (16) 並に蓄電器 (14') (15') 整流器 (17') 抵抗 (16') を並列に接続して放電停止時の兩端部 (19) (20) に於ける高電壓を利用し放電管起動電位を供給する電源とし以て三極間の格子に與ふる格子電壓の變化を確實ならしむるやう構成した自動電氣抵抗接機に係る。

電氣熔接裝置 (1) 第 6,099 號 [昭 16-11-10] (2) 昭 16-6-20, (3) 米國オスカー・シー・フレデリック, (4) 東京芝浦電氣株式會社, 本發明は圖に示す如く熔接電極支持桿體を給電導線に可動的に取付ける装置と熔接電極を相對的に運動せしむる原動裝置と該原動裝置の作動と共に上記取附装置を締着して前記桿體を給電導線に固着する装置とを具ふる電氣熔接裝置に係る。



アンチモンの電解精鍊法 (1) 第 6,165 號 [昭 16-11-12] (2) 昭 14-8-25, (3), (4) 日比野國勝, 本發明は硫化アンチモンの苛性アルカリ溶液を電氣分解に附し金屬アンチモンを製造する方法に於て溶

硫酸ソーダ 1~50g, 比重 1.19 (37%), 鹽酸 10cc~30cc を混合したる水溶液中に目的物を浸し黒褐色の緻密なる被膜を化成せしむる第2工程との順序結合を特徴とするマグネシウム又は其合金の防蝕處理方法に係る。

自働展開式水冷鑄造装置 (1) 第 6,381 號 [昭 16-11-17] (2) 昭 16-5-21, (3) 平岩末吉, (4) 住友金屬工業株式會社, 本發明は鑄型の開放せる側面を導杆を貫通する支片を定着し且次上位のものと同様に於て閉着されたる數個の扉を以て密閉し前記導杆の兩端を水槽の側面に設けある上方を垂直案内溝と成し下方を傾斜案内溝と成したる 2 條の案内溝に嵌合したる自働展開式水冷鑄造装置に係る。

金屬鑄塊製造装置 (1) 第 6,382 號 [昭 16-11-17] (2) 昭 16-2-12, (3) 戸賀七郎外 1 名, (4) 株式會社神戸製鋼所, 本發明は可傾式爐體に於ける上下相異なる位置に裝備せる加熱施設に依り高低任意の部位を加熱し得べき爐室に其上部に當り金屬鑄型を掛型を掛止めて之を垂下状態に保持せしむべくするのみならず爐室の下端は之を任意に開閉し得べくし且別上記爐體の直下に其下端が開放せられたる場合爐室内に對し昇降して其上昇の際金屬鑄型を順次下端より浸漬せしめ得べく冷却水槽を裝備したる様式に於て上記冷却水槽を其下方に設けたる水室内に昇降し得べき浮子と連結し前記水室内の水を増減せしむる事により浮子と共に冷却水槽を昇降せしむるやう構成した金屬鑄塊製造装置に係る。

二酸化マンガン含有するコバルト貧鐵の處理方法 (1) 第 6,436 號 [昭 16-11-20] (2) 昭 15-11-22, (3) 加福均三外 1 名, (4) 淺野八郎, 本發明はサイロメラン, パイロリュサイト, ワツド等の如き二酸化マンガン含有する母岩中に銅, 鐵等の夾雜物と共に極微量に介在するコバルトを分取する場合に於て該母岩を煅焼し加熱の下に鹽素と鹽化水素との混合ガスを通して焙焼する事を特徴とするコバルト貧鐵の處理法に係る。

軸受合金 (1) 第 6,437 號 [昭 16-11-20] (2) 昭 15-4-5, (3) リチャーズ・エッチ・ハリントン, (4) 東京芝浦電氣株式會社, 本發明は 1~5% の鉛と殘餘の母體合金とより成り該母體合金は Be 0.1~1.0%, Co 又は Cr 0.1~6.0% と殘餘 Cu よりなる軸受合金に係る。

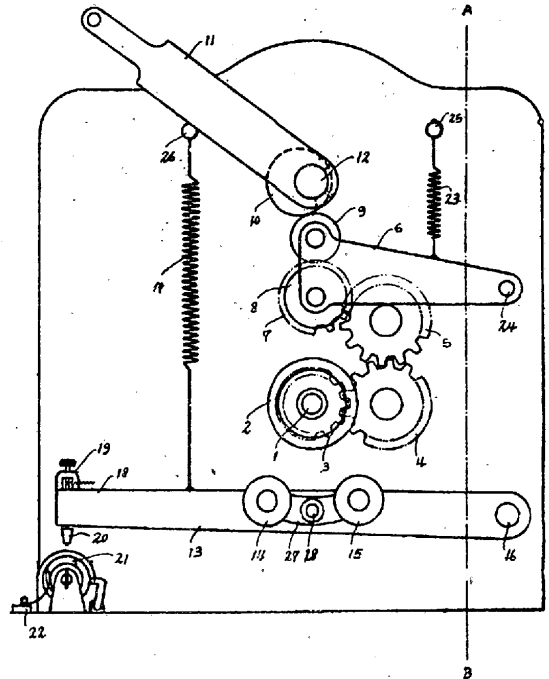
硬質合成物線引型製作方法 (1) 第 6,438 號 [昭 16-11-20] (2) 昭 14-5-12, (3) 瀬戸口一夫, (4) 株式會社川西機械製作所, 本發明は硬質金屬を主とする混合粉末を截頭圓錐形部を有する圓筒形型中に充填し小徑筒部を固定して之を大徑圓筒部より壓搾したる後焼成する事を特徴とする線引型の製作方法に係る。

鑿の成形装置 (1) 第 6,439 號 [昭 16-11-20] (2) 昭 15-1-24, (3), (4) 朴勤, 本發明は汽罐の火爐内に於て薪を燃焼せしむる爲の火格子の上方に鑿を灼熱するコークスを燃焼せしむる爲めの補助火格子を設け爐壁に該補助火格子上に臨む鑿挿入孔を穿ちたる汽罐に對し, 蒸氣管を介して鑿の成形機を連結して成る鑿の成形装置に係る。

タングステン接點及類似品の製法 (1) 第 6,489 號 [昭 16-11-20] (2) 昭 5-11-2, (3) 瀬戸口一雄外 1 名, (4) 株式會社川西機械製作所, 本發明は銅素材及タングステン板間に電氣抵抗大にして熱傳導度大なる銅合金例へばマンガンの如き合金接合劑を挿入し電氣點熔接により接着する事を特徴とする接點及類似品の製法に係る。

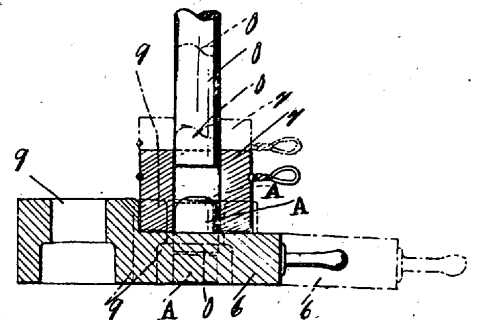
金屬リング鍛造機 (1) 第 6,789 號 [昭 16-11-27] (2) 昭 15-12-27, (3), (4) 高井銜橋, 本發明は定置ロールの上部に可動壓延

ロールを備へ此兩者を齒車装置により適宜の原動軸に聯結廻動すべくし該可動壓延ロールの上部には之を壓下すべき偏心カムと該カムを廻動すべき減速軸及手動杆を備へ又定置ロールの下部には二個の可動支持ロールを一端を樞着したる可動杆に中央を樞着したる弓狀杆の兩端に軸着し該可動杆の先端に電氣繼電器を装置せる金屬リングの鍛造機に係る。



リングナット地製造法 (1) 第 6,790 號 [昭 16-11-27] (2) 昭 15-2-6, (3), (4) 小谷留五郎, 本發明は素材の中央裏面を型により膨出せしめて厚

さを大とし之を筒受型に架載して先丸雄型により押壓し筒受型を通過せしめて素材周部を椀形に挫成せしめ次に筒受型に倒載して椀形部を平面となすと共に周圍及口邊を整形して成るリング地製造法に係る。



複合金屬線素材製造方法 (1) 第 6,814 號 [昭 16-11-29] (2) 昭 15-2-23, (3) 根岸元凱, (4) 住友電氣工業株式會社, 本發明は芯桿の周圍に硼砂, 硼酸等の熔劑粉末を薄紙布若くはセロファン等の抑巻により密に被着し然る後之を鑄型内に装入し該芯桿に強電流を通して高熱し前記熔劑層を熔解せしむると共に鑄型の間隙中に熔融異種金屬を注入する事を特徴とする複合金屬線素材製造法に係る。

美術品又は工藝品用金屬鍍の製造法 (1) 第 6,815 號 [昭 16-11-29] (2) 昭 15-6-10, (3), (4) 蒔田宗次, 本發明は 1 種又は數種の金屬鍍の多數を之と異なる 1 種の熔融金屬を以て鑄括して 1 體物となす工程と之を鍛壓又はロール作業に服せしめて所要の厚さよりも稍々厚き鍍となす工程と右の鍍の表面を所要形態に削り窪めて異種金屬の多數交互層を露出せしめたる後之を平壓して肌地に木目

を表現せしめ且所要の厚みを有する平板となす工業用金属板の製造法に係る。

マグネシウム及其合金の防蝕方法 (1) 第 6,816 號 [昭 16-11-29] (2) 昭 14-8-17, (3) 梅原義夫, (4) 陸軍大臣, 本發明は磷酸及クロム酸カリを混合して酸性となしたる水溶液中にマグネシウム又は其合金より成る目的物を適當時間浸漬加熱する事を特徴とする防蝕方法に係る。

鐵亞鉛の如き金属又は同合金の防蝕處理劑を製造する方法 (1) 第 6,817 號 [昭 16-11-29] (2) 昭 15-3-15, (3) 永井由太郎外 1 名, (4) 日本パーカライジング株式会社, 本發明は過磷酸石灰又は重過磷酸石灰の水溶液に硫酸マンガン又は硫酸亞鉛の水溶液を加へ硫酸石灰を沈澱せしむると共に磷酸二水素マンガン又は磷酸二水素亞鉛を生成せしむる工程と次に沈澱を濾過して除きたる濾液に硝酸バリウムを加へて溶存する硫酸根を硫酸バリウムとして沈澱せしめ之を分別する工程と次に溶液に磷酸を加へ磷酸酸性となしたる後、蒸發濃縮する工程と然る後冷却し主として磷酸二水素マンガン又は

磷酸二水素亞鉛より成る結晶物を析出せしめ之を母液と分別する工程との結合を特徴とする鐵亞鉛の如き金属又は合金の防蝕劑の製造方法に係る。

マグネシウム又は其合金の防蝕處理方法 (1) 第 6,818 號 [昭 '6-11-29] (2) 昭 15-3-29, (3) 渡邊正信, (4) 東京航空計器株式会社, 本發明はニトロプルシッドナトリウムの水溶液に亞鉛カドミウムの硫酸鹽の 1 種又は 2 種と重クロム酸、過マンガン酸のアルカリ鹽の 1 種又は 2 種を添加したる混合溶液中にマグネシウム又は其合金體を浸漬し之を加熱若くは加壓加熱處理する事に依り其表面に防蝕被膜を形成せしむる事を特徴とする防蝕處理方法に係る。

黒鉛電極原料製造法 (1) 第 6,900 號 [昭 16-11-29] (2) 昭 15-9-16, (3) 山本榮治, (4) 昭和電工株式会社, 本發明は低級天然黒鉛たる土狀黒鉛をピッチ、タールの如き粘結劑と共に混捏後ブロック状に壓縮固形化せしめ之を電氣爐にて 1,800°C 以上に於て加熱處理を施し然る後粉碎して電極製造用原料と爲す黒鉛電極の製造法に係る。

昭和 16 年 12 月中に發布された主要法令目次

號	事項	日付	官報頁	商工省告示	重要産業團體令及同施行規則により		
詔書	米國及英國に對し宣戰	8	號外		1204	重要産業團體令及同施行規則により	2 68
	臨時帝國議會召集	8	號外			指定(セメント部門の統制會)	
	帝國議會開會	25	號外		1215	同(原動機及生産用機器部門の統制會)	4 164
法律	96 戦争保險臨時措置法	19	641	1223	クランク型普通形削盤の最高販賣價格指定	8	264
	98 戦時犯罪處罰の特例に關する件	19	642				
勅令	1084 企業許可令	11	371	1226	鐵鋼統制會理事任命の件認可	9	288
	1099 南洋群島に於ける戒嚴及徵發に關する件	13	436	1242	重要産業團體令及同施行規則に依り指定(非鐵金屬部門の統制會)	12	404
	1103 商工省官制中改正	13	號外	1248	アルミニウム製造獎勵金交付額	13	456
	1136 防空監視隊令	17	581	1272	大型乗用自動車及小型自動車の最高販賣價格指定	15	496
	1137 防空従事者扶助令	17	581	1273	軸受用鋼球の同上	15	496
	1253 重要機械製造事業法施行令	29	1028	1280	岩綿の同上	18	615
内務省令	39 防空法施行規則	18	609	1286	(鑛山統制會定款等)	19	663
商工省令	97 紙配給統制規則	1	4	1275	(セメント 同上)	20	685
商工・陸軍・海軍省令 2	重要機械製造事業法施行規則	29	1036	1298	鑿及部分品の最高販賣價格指定	20	686
商工省告示 1192	重要産業團體令及同施行規則に依り指定(精密機器部門統制會)	1	29	1299	一號接點用合金線及板等の同上	20	694
	1195 同(車輛及鐵道信號保安裝置部門の統制會)	1	29	1307	マグネサイト及同燒成品の同上	22	741
	1198 同(自動車部門統制會)	1	29	1324	亞鉛引有刺鐵線及有刺鐵線の同上	24	859
	1200 フェロシリコンの最高販賣價格指定	1	29	1327	重要産業團體令及同施行規則に依り指定(貿易部門統制會)	24	861
				1348	(自動車部門統制會定款等)	26	910